

第五十六回帝國議會
衆議院

船舶職員法中改正法律案外一件委員會會議錄(速)第三回

付託議案
船舶職員法中改正法律案(政府提出)
無線電信法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和四年三月十一日(月曜日)午前十時
十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 佐々木平次郎君

理事 青山 憲三君

枅谷 音三君 齋藤 巖君

土屋清三郎君 漢那 憲和君

檀野 禮助君

同日委員大里廣次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ土屋清三郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

逓信參與官 向井 倭雄君

逓信省電務局長 畠山 敏行君

逓信省管船局長 宮崎 清則君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船舶職員法中改正法律案(政府提出)
無線電信法中改正法律案(政府提出)

○佐々木委員長 ソレデハ前會ニ引續キ會議ヲ開キマス、便宜上無線電信法中改正法律案ノ政府ノ提案セラレマシタ趣旨ヲ一應御説明願ヒタイト思ヒマス

○向井政府委員 無線電信法中改正案ノ大體ノ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、國際無線電信會議ハ明治四十五年倫敦ニ於テ開催セラレマシテ以來、實ニ十五箇年間ヲ經過致シマシテ、一昨

年華盛頓ニ於テ開催セラレタ次第デアリノデアリマス、此間無線電信、無線電話ノ顯著ナル發達ヲ見マシタル關係上、同會議ニ於キマシテ新ニ國際的ニ決定セラレタ問題ハ少クナイノデアリマス、其中ニ於キマシテ條約ノ適用範圍ヲ擴張シテ一切ノ無線電信ニ及ボシタルコト、竝ニ無線通信從業者、無線通信ノ混信防止及船舶航空機ノ航行ノ安全ニ關スル通信ニ付テ詳細ノ規定ヲ設ケタルコトハ最モ必要ノ事柄デアルト思フノデアリマス、是等ノ事柄ニ付キマシテハ、國內ノ關係ニ於テモ同ジ歩調ヲ取ルコトヲ必要トスルノデアリマス、次ニ我が國內ノ無線電信、無線電話ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク年ト共ニ其普及發達ヲ見マシテ、大正四年無線電信法ヲ制定致シマシタ當時ハ、無線電信ノ施設數ト云フモノガ、八十内外ヲ算スルニ過ギナイ有様デアッタノデアリマス、爾來海運界ノ需要ニ連レマシテ、又產業經濟ノ進行ニ伴ヒマシテ、今日ニ於キマシテハ全國無線電信無線電話ノ施設數ハ千五百ニ上ッテ居ルノデアリマス、其中私設ノ無線電信、無線電話ダケデ千以上トナッテ居ルノデアリマス、尙ホ此外放送ヲ聽クモノ、即チ「ラヂオ」ノ如キモノハ實ニ五十數萬ト云フ大ナル數字ヲ示シテ居ルノデ

アリマス、無線電信、無線電話ノ普及發達ハ眞ニ測リ知レヌ有様デアリノデアリマス、隨テ國際關係ト同一歩調ヲ取ル上ニハ、尙ホ圓滿ナル發達ヲ期スル爲ニ、其通信ノ取締及電波ノ統制ニ付テ、適當ノ處置ヲ致サネバナラヌノデアリマス、此改正法案ハ條項ト致シマシテハ十三箇條ニ互テ居リマスガ、其歸著致シマスル所ノ趣旨ハ只今述ベタ通りデアリマシテ、改正ノ要點ハ大體之ヲ四ツニ分ッテ申上ゲルコトガ出來ルノデアリマス、第一ハ電波ノ統制ニ付キマシテ必要ナル規定ヲ設ケントスルコトデアリマス、御承知ノ如ク無線通信ヲ圓滑ニ疏通致サセマスニハ、電波ノ混亂ナキ狀態ヲ必要トスルノデアリマシテ、是ガ爲ニハ無線通信ノ混信ノ防止、通信障礙防止ノ處置ヲ必要トスルノデアリマス、無線通信ノ混亂防止、通信障礙防止ニ付キマシテハ、從來特ニ規定シテナカッタノデアリマスルガ、改正國際無線電信條約ガ電波統制ニ重キヲ置ク趣旨ニモ鑑ミマシテ、新ニ第七條ニ於テ私設ノ無線電信、無線電話ニ對シテハ、是ガ爲ニ必要トスル場合ハ許可ノ取消、設備ノ變更、使用ノ制限、停止等ノ處置ヲ爲シ得ルコト、シ、又第三條ニ於テ其通信從業者ノ資格及配置定員ニ關スル規定ヲ補足致シマシタ外

ニ、尙ホ高周波電流ヲ使用スル通報信號施設及高周波電流ヲ發シテ公衆通信ヲ障礙スルガ如キ電機設備ニ對シマシテモ、第二十八條ノ二、第二十八條ノ三ニ於テ是ガ爲ニ必要ナル處置ヲ爲シ得ルヤウニ規定ヲ設ケマシテ、廣ク電波ノ統制上遺憾ナキヲ期スルコト、致シタルデアリマス、第二ハ無線電信無線電話ノ通信取締規定ヲ補足セントスルコトデアリマス、無線通信ハ線條ノ連絡ナクシテ非常ニ廣イ範圍ニ、極メテ迅速ニ擴散スルノデアリマスカラ、不法ノ目的ニ之ヲ使用スル場合ニ於キマシテハ、其社會ニ及ボス惡影響ハ眞ニ恐ルベキモノガアルノデアリマス、從來無線通信ノ取締方法ト致シマシテハ、電信官署、電話官署ノ取扱ニ係ルモノ、即チ公衆通信ニ付キマシテハ之ヲ停止スルコトガ出來タニ過ギナカッタノデアリマスガ、新ニ第八條ノ二ニ於テ私設ノ無線電信無線電話ニ付テモ、之ヲ停止スルコトガ出來ルヤウニ致シ、尙ホ無線通信トシテ此種ノ目的ヲ以テ發信スルモノヲ未然ニ防止スル爲ニ、第二十二條ノ二ニ於テ取締規定ヲ設ケタルデアリマスルガ、更ニ第十三條ノ二ニ於テ監督上必要ト認ムル場合ハ、検査官吏ガ私設ノ無線電信無線電話ノ施設ノ場所ニ立入ッテ、検査ヲスル

コトガ出來ルコトニ致シマシタ、此無線電信無線電話ノ通信取締上、遺漏ナイヤウニ致シタノデアリマス、第三ハ無線電信無線電話ノ通信ノ秘密保護ノ範圍ヲ擴張セントスルノデアリマス、從來無線通信ノ秘密保護ノ範圍ハ電信官署電話官署ノ取扱中ニ係ル公衆通信ノミニ限ラレテ居ッタノデアリマスガ、第二十條ノ二ニ於キマシテ新ニ無線電信又ハ無線電話ニ依テ送受中ノ私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ノ秘密ヲモ保護スルコトニ致シマシテ、改正無線電信條約ノ實施ニ伴フ必要ニモ合致セシムルコト、致シタノデアリマス、第四ハ公衆通信ノ用ニ供スル無線電信無線電話ノ無料取扱ノ範圍ヲ擴張セントスルコトデアリマス、從來船舶、航空機ノ遭難通信及ビ報時通信、氣象通信等ニ付キマシテハ、其取扱ヲ無料トシテ居ルノデアリマスルガ、船舶及航空機ノ航行ノ安全ニ關スル通信モ、亦公益上極メテ重要ナル性質ヲ有スルコトニ鑑ミマシテ、新ニ第十五條ニ於テ之ヲ無料取扱ノ範圍ニ加ヘルコト、致シマシタ、改正國際無線電信條約ノ趣旨ニモ應ズルコト、シタノデアリマス、改正ノ要點ハ大略以上ノ如クデアリマスガ、尙ホ詳細ニ付キマシテハ御審議ニ從ヒマシテ御質問ニ應ジテ御答致スコトニ致シタイト思ヒマス

○齋藤委員 通信ノ秘密防止ノ爲ノ改正規定ト云フコトデアリマスガ、此機會ニ於キマシテ——必シモ不正ノ電信電話トハ申シマセヌガ、總テノ通信ノ秘密ノ司法關係ニ於キマシテノ刑事若クハ民事ノ事實發見ノ關係ニ於キマシテ、政府ノ御方針ヲ承テ置キタイ、通信ノ秘密モ勿論保タナケレバナリマセヌガ、刑事裁判若クハ民事裁判ニ於キマシテノ事實ノ陳述ノ發見ト云フコトモ、私共ハ訴訟制度ノ上ニ甚ダ必要デアル、然ルニドウカ致シマス、此通信ガ秘密ニ取扱ハレマシテ、此民事若クハ刑事ノ事實ノ端緒ヲ通信官署ニ於テ邪魔ト申シマシテハ、語弊ガアルカモ知レマセヌガ、通信ノ秘密ニ屬スルト云フ意味ヲ以テマシテ、拒マレルコトガ往々アルノデアリマス、ドウ云フ方針デ通信ノ秘密、ソレカラ司法裁判ノ事實ノ陳述發見ノ場合ニ於キマシテ御取締ニナルノデアリマスカ、伺ヒタイノデアリマス

○岡山政府委員 御答致シマス、通信ノ秘密ハ現在ノ憲法ニ於テ保障致シテ居ル所デアリマシテ、遞信當局ト致シマシテモ通信秘密ノ確保ニ付キマシテハ十分ニ慎重ナ態度ヲ執ラザルヲ得ナイノデアリマス、併シ犯罪捜査等ノ場合ニ、或ル調査ノ内容ヲ當局ニ於テ知ル必要ガアル、斯ウ云ツタ場合ニ於キマシテハ、刑事訴訟法ニ基イテ關係調書ノ提出モ求メラレルノデアリマスガ、遞信省ト致シマシテハ、刑事訴訟法ニ定ムル所ニ依テ其要求ニ應ズル外途ガナイノデアリマス、現在デハ法律ニ手續ガ定ツテ居マス、其法律ニ基イテ要求サレタ場合ニハ、相當手配モ致シテ其官憲筋ニ廻シテ居ルヤウナ次第デアリマス、其以外ニ於キマシテハ現在法律上遞信省限リデ之ヲ自由ニ官憲ノ手ニ差廻ハス方法ハナイノデゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○青山委員 此議事ヲドウ云フ風ニ爲サイマス、此間ノ船舶職員ノ方ヲヤツテ其後ニ今日ノ此無線電信ノ方ノ審議ニ移リマス、ソレトモ兩方トモ一緒ニヤリマス

○佐々木委員長 今ノ無線電信法中改正法律案ハ一應政府ノ提案ノ趣旨ヲ御説明ヲ受ケマシタカラ此程度ニ止メテ置キマシテ、サウシテ船舶職員法改正ニ付テ御審議ヲ進メタイ、サウ思ヒマスガ、如何デス

〔賛成「ト呼フ者アリ」〕

○佐々木委員長 ソレデハサウ云フ風ニ致シマス

○青山委員 一寸改正案ニ直接關係ハゴザイマセヌケレドモ、之ニ關聯シテ御尋致シタイト思ヒマス、現在ノ海事部及其出張所ヲ増設スルコト、現在アリマス海事部及其出張所ノ職員ヲ増員スルコトガ出來ルカドウカ、之ニ付キマシテハ現在動力附ノ漁船ガ逐年激増シテ居ルノデゴザイマシテ、此檢査機關タル海事部職員ハ豫算其他ニ制限セラレテ其割合ニ増員ヲシテ居ラレヌ

ノデアリマス、極ク少數ノ檢査官ヲ以テ多數ノ船舶ヲ檢査シナケレバナラヌト云フ現状ニ在ルノデアリマス、爲ニ勢ヒ其檢査ノ圓滑ヲ缺イテ、空シク漁業關係ノ汽船ノ如キハ漁期ヲ逸シ、非常ニ損害ヲ被ムルト云フヤウナ實際ニ在ルノデゴザイマス、斯ノ如キハ漁民ノ最モ苦痛トスル所デアリマシテ、漁船法制定ノ聲ガ漁業家ノ中ニヤカマシクナルノモ此事情ニ胚胎シテ居ルノデゴザイマス、之ニ付テハ海事部職員ノ増員ハ勿論、各地ニ海事部ノ出張所ヲ増設シテ、檢査ヲ今日以上ニ圓滑ナラシメルト云フコトニ付テ、當局ハ如何ニ御考ニナルカ、此機會ニ於テ承リタイト思ヒマス

○宮崎政府委員 只今ノ御尋ノ海事部出張所ノ増設ニ付キマシテハ、豫テ遞信當局モ此必要ヲ認メテ居リマシタノデ、明年度豫算ニ於テハ二箇所ノ増設ヲ計上致シテ出シテ置キマシタヤウナ次第デ、場所ハマダ確定ハ致シマセヌケレドモ、大體ニ於キマシテ青森ト清水ニ置キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、併シマダ確定的ノモノデハゴザイマセヌ、今後又財政ノ許ス限リ出張所ノ増設ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、又海事部ノ職員デゴザイマスガ、是モ只今御話ノヤウニ私共ハ十分トハ認メテ居リマセヌ、隨テ漁船ノ檢査等ニ付キマシテモ遅延スルト云フコトガアリマスノデ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス

ルガ、何分御承知ノ如ク財政上増員ヲ認メルト云フコトハ、餘程困難デゴザイマスカラ、是ハ只今御話ノヤウニ、漁船法ヲ御制定ニナルト云フコトニナリマシテモ、經費ガナイト云フコトニナレバ、矢張同ジコトデゴザイマス、若シ經費ガ許スト云フコトニナレバ、漁船法ノ制定ヲ俟タナクテモ、私共ハ當然増員シナケレバナラスト考ヘテ居リマスガ、何分ニモ只今申上グルヤウナ財政ノ實況デゴザイマスカラ、此事ノ容易ニ出來マセヌノハ甚ダ遺憾ト認メテ居ル所デアリマスガ、私共ハ出來ルダケ増員ヲ圖リタイト思フテ居リマス、併シ増員ガ圖ラレナイ場合ニ於テモ、成ベク民間ノ方ノ不便ニナラナイヤウニ最善ノ努力ヲ致シテ居ル積リデゴザイマス

○青山委員 尙ホ此機會ニ是モ矢張漁業ニ關係シタコトデゴザイマスルガ、漁船ノ機關士ノ講習會ガ毎年開催セラレテ居ルノデアリテ、其都度此海事職員ノ試験ガ受ケラレルヤウニ取計ラヒテ願ヒタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、從來此漁船ノ機關士、船員ノ講習ハ長期間ヤルノデゴザイマシテ、普通ハ講習期間ハ大抵三十日間與ヘラレル、其間最モ貧弱ナル漁業者ガ家業ヲ休ンデ講習ヲ受ケテ其後ニ試験ヲ受ケルノデ、生活上ノ多大ノ犠牲ヲ忍ンデ折角講習ヲ受ケテモ、海事ノ試験ガソレニ伴ハヌ爲ニ、免許ヲ受ケル上ニ

非常ニ困難ヲ感ズルノデアリマス、故ニ遞信當局ニ於テハ機關士講習會ガ開催セラレテ、ソレノ終ル場合ニ海事ノ方ノ試験ヲヤッテ戴ケバ、非常ニ助カルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、是ハ一ツ是非實行シテ戴クヤウニ希望致シタイノデアリマス、是等ニ對シテモ遞信當局ニ於テハ如何ニ御考ニナルカ、此機會ニ於テ承ッテ置キタイト思ヒマス

○宮崎政府委員 只今ノ御説モ私共至極同感デゴザイマス、ソレデ今同此職員法ヲ改正致シマスニ付キマシテ、只今ノ御話ノヤウナ小サナ漁船ニ乗組ムヤウナ職員ニ付キマシテハ試験ヲヤラナイデ、其履歷ニ重キヲ置キマシテ、今ノ御話ノヤウナ一定ノ講習ヲ受ケタ者其講習ハ遞信省デ相當ト認メタ講習ヲ受ケタ者ニ對シテハ、遞信省ノ正規ノ試験ヲ執行シナイデ免狀ヲ授與スル方法ヲ講ジタイト思フテ居リマス、ソコデ此法案ニハ現レテ居リマセヌケレドモ、特別ノ命令ヲ以テ只今私ノ考ヘテ居リマスノハ、三十噸未満ノ船ニハ試験ヲ受ケナイデ免狀ヲ取レル方法ヲ開イテヤリタイ、是ハ甲板部ノモノデアリマスガ、機關部ニ付キマシテモ三等機關士ニ付キマシテハ簡易ナサウ云フ免狀ヲ與ヘタイト思フテ居リマス

○青山委員 是ハ今度ノ改正案ニ關係シタコトデアリマスガ、船舶法ノ第六條ノ第一項第二項ニ該當スルヤウナ事實ガ今日迄ニ澤山アッタノデスカ

○宮崎政府委員 第一項ノ公權停止ト云フモノハ是ハ能クアルノデアリマス、色々ノ犯罪事件デ刑ヲ受ケタ者ハ、刑ヲ受ケテ居ル間ハ大體ニ於テ公權停止中ト云フコトニナルノデアリマス、即チ六年未満ノモノデアリマスレバ、此公權停止中ト云フ者ニ屬スルノデアリマスカラ、此種類ノモノハ相當アリマス、公權剝奪ト云フ者ニナリマス、刑ト致シマシテモ相當重イ刑ニナルノデアリマスカラ、是ハ少イノデアリマスガ、公權停止中ノモノハ相當ニアリマス、ソレカラ二ノ家資分散ノ宣告ヲ受ケタ者、只今デハ破産者デアリマス、是ハ比較的少イヤウニ記憶シテ居リマス

○漢那委員 此間モ一寸質問ガアリマシタガ、此受驗ヲスル者ニ對シテ何故制限ヲ加ヘルカ、當局ノ説明デハ船長ハ最モ重大ナル職務デ警察權モ行使スル、ソレデアルカラ是ダケノ制限ヲ加ヘナケレバナラスト云フ御説明デアリマシタガ、ソレヲ其儘受驗者ニマデモ適用サレルト云フノハドウ云フ譯デアリマス、先ヅ其點ヲ承リタイト思ヒマス

○宮崎政府委員 只今ノ御話ノヤウニ職員タルコトヲ得ザルモノガ試験ヲ受ケマシテモ、其試験ハ何ノ役ニモ立たヌノデアリマスカラ、試験ヲ受ケサスト云フコトハ無益ニナリハシナイカ、併シ茲ニ種類ニ依リマシテ所謂公權停止

中ニ屬スル者ハ、公權ノ停止ヲ終レバ又職員ニナルノデアリマスカラシテ、サウ云フモノハ多少違ヒモアリマスケレドモ、全然終身職員タルコトヲ得ザル者ニ試験ヲ受ケサスト云フコトハ無益ニナル、唯問題ニナルコトハ、職員ニ將來ナリ得ル者デ、現在職員ニナリ得ナイ間ニ於テ試験ヲ受ケサセルト云フコトハ、宜イカ惡イカト云フコトガ問題ニナルト思フノデアリマス、ソコデ前回ニ申上ゲマシタヤウニ懲戒ヲ受ケテ居ルト云フ間ハ、矢張試験ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居リマスガ、是等ノコトハ一種ノ制裁ヲ加ヘテ居ルノデアルカラ、其期間ニ恩典ヲ與ヘルヤウナ形ニナッテハ、懲戒ノ目的ヲ達シナイト云フコトニナリマスカラ、斯ウ云フモノハ試験ヲ受ケサセナイ方ガ宜カラウト云フコトニナリマス、ソレカラ公權停止中ノ者、是ガ先ヅ問題ニナルノデアリマシテ、是モ一面カラ言ヘバ、サウ云フ犯罪者ニ現ニ刑ノ執行ヲ受ケツ、アル者ニ對シテ、恩典ヲ與ヘル必要ハナイデヤナイカト云フコトハ、モウ一ツハ現ニ刑ノ執行ヲ受ケテ居ル者ハ多クハ監獄ニ入ッテ居ル者トカ云フコトニナリマスカラ、試験ヲ受ケルコトハ事實出來ナイ、問題ガサウナルト刑ノ執行猶豫中ノ者ハドウナルカト云フコトデアリマスガ、是ハ前回ニモ御意見ガアリマシタガ、是ハ色々御意見ガアルコト、思ヒマス、

併シ私共ハ刑ノ執行猶豫中ノ者ト雖モ矢張一種ノ制裁ヲ受ケテ居ルノデアリマスシ、斯ウ云フ者ハ從來モ矢張試験ヲ受ケサセナイト云フ方針デ來テ居リマスカラ、今日モ特ニ此方針ヲ變ヘル必要ヲ認メナイノデ、其儘ニ刑ノ執行猶豫中ノ者デモ試験ヲ受ケサセナイ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ意味デ現在ノ通りデ行フ、斯ウ云フ考デゴザイマス

○漢那委員 試験ヲ受ケタ所デ船舶職員ニ絶對ニナリ得ナイ者ニ對シテ試験ヲ受ケサセテモ無益デアルト云フ只今ノ御説明ハ諒承致シマシタガ、試験ヲ受ケテ置イテ、サウシテ特別ノ事情ガナクナッタナラバ船舶職員ニナリ得ル者、即チ今ノ刑ノ執行猶豫中ノ者デモ、其期間ニ勉強シテ、サウシテ試験ヲ通過スル可能性モアルノデアリマス、ソレカラ又今恩典ト云フコトヲ仰シヤイマシタケレドモ、是ハ決シテ恩典ト見ルベキモノデハナイト思フ、刑ノ執行猶豫中ノ者ハ兎ニ角謹慎ハシテ居ッテモ、總テ社會上ノ事ニ付テハ何等普通ノ人ト違ッテ居ラヌノデアリマス、之ニ對シテ當然ノ權利ヲ行使サセルト云フコトハ是非ナケレバナラヌコトデ、之ヲ官ノ方カラ恩典ダト見レバ抑々違ッテ居リハシナイカト思フ、先程カラ一寸當局ノ御説明ニモアリマシタ通り、或ル期間ヲ過ギタナラバ其人ハ船舶ノ職員ニナリ得ルモノデアッタラ試験ヲ受ケサセテモ宜イノデハナイカト云フ

議論モアルト云フ御話デアリマシタガ、其議論ニ從テ此制限ノ條項ヲ改正サレル御意思ハアリマセヌカ

○宮崎政府委員 只今ノ所デハ原案ヲ維持シタイト考ヘテ居リマス、先程申上グルヤウニ、此點ニ付テハ色々議論モアリマスガ、先ヅ船舶職員法ガ布カレテ三十年來、ソレデ今日迄ヤッテ來テ居リマスシ、別ニ此點ニ付テハ大シタ非難モ聞キマセヌノデ、大體現狀維持デ行カウ、斯ウ云フ方針デ來テ居リマス、併シ御意見ハ能ク拜聽致シテ置キマスガ、只今ノ所デハ私共原案通りデ行キタイト考ヘテ居リマス

○漢那委員 今ノ恩典ト云フ御考ヲモウ少シ變ヘル御意思ハナイノデスカ、私ハ決シテ恩典デハナイト思フ、恩典デナイトスルナラバ當然ヤルベキモノハヤラナケレバナラヌト思フ、何故恩典ト仰シヤルノデスカ

○宮崎政府委員 ソレハ見方ニ依ルト思ヒマスガ、恩典ト云フコトガ餘リニ強ク響クナレバ、私ハ恩典ト云フコトハ取消シマス、併シ從來モ色々ノ方面ニ於テ刑ノ執行猶豫中ノ者ハ一般ノ者ト違ッテ相當制限ヲ受ケテ居ルノデ、其制限ヲ段々解イテ行クト云フコトニナルノデアリマスガ、矢張試験ヲ受ケルト云フコトニナレバ、試験ヲ受ケテ合格スレバ直ニ免狀ヲ取ッテヤラウト云フコトニナリマスカラ、其點カラ言ヘバ相當利益ニナラウト思フ、恩典ト云

フ用語ハ惡イカモ知レマセヌガ、兎ニ角利益ヲ受ケルコトニナリマス、サウ云フ意味デ申上ゲタノデ、若シ恩典ト云フ言葉ガ餘リ宜クナケレバ私ハ取消シマスガ、必シモ恩典ト云フ文字ヲ用キナクテモ宜カラウト思ヒマス

○漢那委員 試験ヲ受ケテ「パス」シテモ、船舶職員ニナル資格ノナイ間ハ免狀ヲヤラナケレバ宜クハアリマセヌカ

○宮崎政府委員 ソレハ無論サウデゴザイマス、ソレデ先程申上ゲタヤウニ、貴方ノ御尋ハ一般的ノ御尋デアリマシタガ、色々ノ場合ヲ分ケテ申上ゲタノデアッテ、結局殘ル所ハ刑ノ執行猶豫中ノ者ニナルガ、ソレニ付テハ世間ニモ色々ノ說モアリ、御意見ハ御尤ト思ッテ居リマスガ、政府トシテハ原案ヲ維持シテ行キタイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○漢那委員 ソレカラ第六條ノ第二號ニ「六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者」トアルガ、「刑ノ執行ヲ終リ」ト云フノハ終リタル者ト云フ意味デスカ

○宮崎政府委員 終ル迄ノ者デアリマス

○土屋委員 此改正案ニ「左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ船舶職員タルコトヲ得ス」トアリマスガ、サウスルト左ノ各號ノ一ニ該當シタル者ガアッタ時ニハ、何時カラ效力ガ發生スルノデアリマス

○宮崎政府委員 其事實ノ發生シタ時ニ職員タル資格ガナクナルト見ナケレバナラヌガ、航海中デ實際ソレニ代ル者ガナイ場合ハ已ムヲ得ヌト思フ、併シ多數ノ職員ガ乗ッテ居ル場合ニハ、或ル一人ノ者ガ失格シテモ補充シ得ル場合ハ相當アルト思ヒマス

○土屋委員 補充シ得ル得ナイハ別トシテ實際問題トシテハ何時效力ガ發生スルノデアルカ、航海中ニサウ云フコトニナレバ、或ハ無線電信ナリ電話ナリデ通告シテ、其通告ヲ得ルト同時ニ資格ヲ失フモノデアアルカドウカ、或ハ向フノ港ニ著イテカラ公使館、領事館ナリ官憲ノ報告ヲ受取ッタ時ニ、效力ガ發生シテ船舶職員タル資格ヲ失フモノデアアルカドウカ、只今ノ御説明ノ中ニ、實際トシテハ他ノ者ガ居ルカラト云フ御話ガアリマシタガ、法律ガ之ヲ決メテ居ル以上ハ、サウ云フコトハ出來ナイト思ヒマスガ……

○宮崎政府委員 ソレハ其事實ガ實際ニ於テ起ッタ時ト思ヒマス、實際問題ト致シマシテ私ハ今日迄其事ニ打突カッタコトガアリマセヌ

○土屋委員 實際問題トシテモ既ニ法律ガ認メマシタ以上ハ、將來起リ得ルノデアリマス、是ハ日本ニ歸ッテ初メテ其資格ヲ失フモノデアアルカト云フニ、私ハナウ云フコトハナカラウト思フ、モシ航海中デ通知ヲ受取ルコトガ出來ナ

カッタトスルナラバ、向フノ港ニ著イテ日本ノ官憲ノ通告ヲ受取ル時期ガ、資格消滅ノ時期デアルカドウカ、此點ヲハッキリ承リタイ

○宮崎政府委員 ソレハ其事實ノ起タ時ト見ナケレバナラヌト思ヒマス、ソレ故ニ航海中起ルコトモアルト思ヒマス、併シ實際航海中ハ補充出来マセヌカラ、船ガ著イタ時ニ取替ヘル者ハ取替ヘルコトニナルト思ヒマス

○土屋委員 補充スル補充シナイノ問題デハナイ、資格ヲ實際失フ時期ハ何時デアルカ、ソレヲハッキリ承リタイ

○宮崎政府委員 ソレハ其事實ガ起タ時ト解釋シナケレバナラヌト思ヒマス

○土屋委員 サウスルト此事柄ガ發生致シマスレバ、航海中ト雖モ當然其資格ヲ失フノデスカ

○宮崎政府委員 其考デアリマス

○土屋委員 前回ノ委員會ニ於テ、私ハ委員デナカッタノデ承知シテ居リマセヌガ、第六項ノ「破産者ニシテ復権ヲ得サル者」之ニ依テ破産者ハ船舶職員タルコトガ出来ナイ、之ヲ御設ケニナタ理由ヲ承リタイ

○宮崎政府委員 是ハ先同モ申シマシタガ、船長ト云フモノハ單ニ技術ノミデ信用サルベキモノデナク、其人ノ人格、其人ノ信用ニ非常ニ重キヲ置クベキデアルト思フ、殊ニ船長其他ノ高等職員ハ他人ノ重要ナル財産ヲ委託サ

レ、ソレヲ管理スル職務ニ在ルノデアアル、破産者ハ財産上ノ缺陷ノアル者デアルカラ、其者ヲ斯様ナ重要ナル職員ニスルコトハ不適當ト考ヘルノデアリマス

○土屋委員 個人ノ財産モ國ノ財産モ同ジドラウト思ヒマスガ、財産管理ノ上ニ破産者ガドウシテ不適當デアルカ、破産者ガ何故信用ガナイカ、此根據ヲ承リタイ

○宮崎政府委員 色々ノ場合ニ依テ違ヒマセウガ、一般的ニ申セバ財産管理ノ上ニ於テ缺陷ガアルカラサウ云フ事ニナルドラウト思フ、其人ニ財産ノ管理ヲサセレバ不安ガ伴フノハ當然ダラウト考ヘル

○土屋委員 逆ニ反問致シマセウ、破産者ハ財産管理ノ資格ガナイ、隨テ財産ヲ管理スル者ニ對シテハ職員タル資格ヲ與ヘナイ方ガ宜シイト斯様ニ解釋サル、然ラバ國ノ財産ヲ管理スル所ノ者ハ一體ドウデアルカ、親任官、勅任官ト云フ行政官ハ些トモ差支ナイ、又武官ニ於テモ大臣モ大將モ少シモ差支ナイ、同ジク航海スル者デアッテモ、帝國軍艦ノ艦長トナッテ航海スル所ノ艦長ハ、破産ノ爲ニ何等其資格ヲ奪ハレルコトハナイ、然ルニ船長或ハ船舶職員ニ對シテ、特ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケテ置クト云フコトハ、ドウモ私ハ意味ヲ爲サヌモノデアルト思フガ、此點ニ付テハ一體ドウ御考ニナリマスカ

○宮崎政府委員 ソレハ少シク場合ガ違ヒハセヌカト考ヘマス、成程官吏ニハ其制限ハナイカモ知レマセヌガ、船舶職員ハ兎ニ角船舶ト云フ重要ナル財産ヲ委託サレルノミナラズ、一般荷主ノ積荷ニ付テモ管理シナケレバナラヌト云フ責任モ有ル、其他財産取引關係ニ於テハ常ニ信用ヲ以テ立タナケレバナラヌ、ソレニ政府ガ免狀ヲ與ヘルトナレバ、政府ガ破産者其者ニ何等缺陷ガナイモノデアルコトヲ保證スルコトニナル、而モ船主ノ方ニ於テ是ハ危險ノ者デアルカラ、成ベク採用ヲ差控ヘルト云フコトニナレバ宜シイノデアルケレドモ、船主ノ中ニハサウ云フコトヲ一向考慮セズニ雇入レル者ガアルカモ知レナイ、只今官吏ノ御話ガアリマシタガ、官吏ハ其人ガ官吏トシテ十分適當ノ者デアルカドウカト云フコトヲ見テ採用スルデアリマセウシ、又一面ニ於テハ官吏ニナル受験資格モ無イヤウナコトニナッテ居ルノデアリマスカ

○土屋委員 受験資格ナドノコトニ付テ申シマスレバ長クナリマスカラ是ハ略シマスガ、官吏デモ既ニ受験ニ依テ資格ヲ得テ居レバ少シモ差支ナイ、是ハ文官任用令ヲ御覽ニナレバ分リマス、ソレカラ特別任用ノ場合ハ何等制限ガナイ、官吏ニ付テハ貴方ハ場合ガ違ウト言ッテ受験資格ヲ御引用ニナラ

○宮崎政府委員 受驗資格ニ付テテ盾シテ居ルコトハ前ニ申上ゲタ通りデアリマスカラ、之ヲ御引用ニナレバ貴方ノ損ニナルカラ是ハ御引用ニナラナイ方ガ宜イ、私ハ別ノ方面カラドウシテ破産者ガ世ノ中ニ於テ信用ガ無イカト云フコトノ根據ヲ承リタイ

○宮崎政府委員 破産ト云フコトニ付テハ餘リ深ク研究シテ居リマセヌガ、一般ノ通念デハ、破産ノ宣告ヲ受ケタ者ガ兎角財産管理ノ上ニ缺陷ガアルト見ルノハ一般ノ通念デハナイカト考ヘテ居リマス

○土屋委員 破産ハ現在ノ社會狀態ニ於テハ、自分ニ全ク責任無クシテ破産スル事實ガ私ハ可ナリ多カラウト思ヒマス、最モ適切ナ例ハ大正十二年ノアノ大震災ノ時ニ、財産ヲ持ッテ居ル所ノ人ガ、一方ニ於テハソレヲ火災保險ニ掛ケテ、サウシテソレヲ擔保トシテ或ル幾ラカノ融通ヲ受ケテ居ル、例ヘバ十萬圓ノ家屋或ハ動産ニ對シテ、五萬圓ノ保險ヲ掛ケテ、サウシテ他カラ一萬圓ナリ二萬圓ノ金ヲ借りテ居ル、所ガアノ結果火災保險ト云フモノハ事實上燒ケテシマッテ、サウシテ借金ト云フモノハ燒ケナイ、財産ハ燒ケテシマッテ、火災保險ハ事實上割トカ五歩トカ云フコトデ燒ケテシマッテ、財産ヲ以テ借金ヲ償フコトガ出来ナイ、而シテ借金ノ方ハ燒ケナイ、此借金ハ更ニ第三者ニ讓渡サレルコトガ出来ル、本人カ

ラヤラナイデモ、第三者ノ讓渡ヲ受ケ
タ者カラ破産ノ申請ヲシテ來レバ、
ソレニ對抗スルコトハ出來ナイ、當然
破産シナケレバナラス、破産ト云フモ
ノハ本人ノ不都合カラバカリ起ルト考
ヘテ居ルト云フコトハ、全ク現代ノ經
濟生活ノ眞相ヲ無視シテ居ルモノデ
アツテ、寧ろ破産ニ至ル道程ニハサウ云
フ氣ノ毒ナルコトガ非常ニ多イ、モット
モット適切ナル例ヲ申上ゲマスレバ、昨
年ノアノ銀行ノ破綻ヲ御覽ナサイ、例
ヘバ茲ニ銀行ニ對シテ二十萬圓ノ公債
ヲ預ケテ置イテ、自分ノ全財産ヲ預ケ
テ置イテ、サウシテ其信用デ他ノ銀行
以外ノ方面カラ二萬ナリ三萬ナリノ融
通ヲ受ケテ居ル、所ガ銀行ガ破綻シテ
シマツテ、金ヲ一文モ取ルコトガ出來ナ
イ、然ルニ片方カラハ催促ヲ受ケル、此
催促ニ依テ矢張破産ノ申請モ出來レ
バ、又外ニ財産ガナケレバ破産ハ免レ
ナイ、然ルニ銀行ハ株式會社デアル、法
人デアル、假ニ此銀行ト云フモノガ、例
ヘバ安田銀行トスレバ、安田ハ株式會
社デアルケレドモ、事實ハ安田家ガ株
ノ大多數ヲ持ッテ居ッテ經營シテ居タ
ノデアリマス、其銀行ガ破綻シテシマ
ッテ預金者ニ金ヲ拂フコトガ出來ナイ、
預ケタ其人ハ一方ノ借ニ對シテ拂ハ
ナケレバナラスノデアリマスガ、銀
行カラハ金ヲ受取ルコトガ出來ナイ、
サウシテ此人ハ破産スル、サウ致シマ
スト其人ハ此破産者ニシテ復權ヲ得ザ

ル者ト云フコトデ資格ヲ失フ、破産サ
レタ所ノ銀行其モノハ法人デアリマス
カラ、事實株ノ大部分ヲ一人——一家
ノ人ガ持ッテ居リマシテモ、其破産シタ
所ノ人ハ法人デアリマスカラ何等責任
ガナイ、反對ニ破産サレタ所ノ被害者ハ
資格ヲ失フノデアリマス、凡ソ何處ノ
國ノ法律ニモ被害者ニ責任アリテ、加
害者ガ責任ヲ負ハナイト云フ法制ハナ
イ、私ハ之ヲ獨リ我ガ日本ノ法制ニ於
テ發見スル、ソレハ破産者ニ對シテ公
ノ資格ヲ奪フテ居ルコトデアル、而モ此
點ニ付テ破産者ハ信用ガナイカラト云
フコトハ斷ジテ言ヘナイト思フ、破産
者ハ信用ガナイカラト云フ點ガオアリ
ニナルナラバ、私ハ改メテ其根據ヲ聞
キタイノデアリマス

○宮崎政府委員 私モ先程カラ申上ゲ
テ居ルヤウニ、破産者ハ必シモ財産管
理ノ能力ガナイト云フコトハ考ヘテ居
ラヌノデアリマス、只今ノ御話ノヤウ
ニ、例外ノ場合ハ多クアルト思ヒマス
ガ、ソレハ所謂例外デハナイカト思フ
ノデアリマス、殊ニ大震災ノヤウナ
場合ハ、サウ云フコトハ再ビアツテハ困
ルコトデハアリマスガ、サウ云フコト
ハ非常ノ例外ト思フノデアリマス、サ
ウ云フ只今御話ノヤウナ場合ガ澤山
アツタデアラウト思ヒマスガ、何レニ致
シマシテモ之ヲ通觀スレバ、矢張先ヅ
財産ノ管理ノ上ニ於テ缺陷ガアルト、
斯ウ見ルノガ通念デハナイカト考ヘマ

スノデ、只今ノ御話ノ例外ノ場合ハ、破
産ノ宣告ヲ受ケタ者ニモ管理能力ガア
ル者モアルト思ヒマス、尙ホ此船舶職
員ハ此前ニモ申上ゲタ通りデアリマス
ガ、此遠洋航海ニ行ク者ハ、外國ニ出テ
行キマシテ、外國人ト接觸シ、外國人ヲ
相手ニ取引ヲシ、外國人ノ荷物ヲ扱フ
コトニナリマスカラ、日本ノ法制ニ於
テ、他ノ法制ニ於テ破産者ト云フ者ハ
公權ヲ行使スル上ニ於テ色々ノ制限ヲ
受ケテ居ル、是ハ財産管理ノ上ニ於テ
非常ナ危險性ガアルト云フコトヲ、若
シ彼等ガ眞ニサウ云フコトヲ考ヘルヤ
ウニナリマス、是ハ由々敷コトデハ
ナイカ、日本ノ海運ノ爲ニモ採ルベカ
ラザルコトデハナイカ、斯様ニ考ヘマ
スノデ、今日ノ日本ノ立法例ニ於キマ
シテハ、總テニ於テ破産者ト云フ者ハ
色々ノ制限ヲ受ケテ居ルノデアリマス
カラ、直ニ今職員法カラ抜クト云フコ
トハ、非常ニ考慮スベキモノデハアル
マイカ、寧ろ國內的ノモノヲ抜イテ、最
後ニ——對外關係ニ重要ナ關係ヲ持ッ
テ居ルヤウナ船舶職員法ト云フモノハ
最後ニ抜クベキモノデハナイカト考ヘ
テ居リマス

○土屋委員 實ニ驚入ッタ御答辯デア
リマスガ、サウ致シマス、破産者ガ船
舶職員タルコトハ外國ニ對シテ信用ガ
無イト、斯ウ云フ風ナ御考デアリマス
カ、外國ニ聞エテモマヅイト云フ御考
デアリマス

○宮崎政府委員 信用ガ無イト云フコ
トデハアリマセヌガ、サウ云フコトデ
日本ノ船舶職員ト云フモノニ多少デモ
不安ヲ與ヘルヤウナコトニナッタラ、非
常ニ不利益ヲ醸スコトデアルカラシ
テ、先ヅ今日ノ所デハ之ヲ抜イテ置ク
ト云フコトガ安全デハナカラウカ、併
シ只今御話ノ日本ノ立法例ニ皆ソレ
ガ無クナツテシマツテ行クナラバ、是ハ船
舶職員法カラ抜イテモ差支ナカラウト
思ヒマスケレドモ、他ノ法令ニ於テ破
産者ハ智能缺格者ニナツテ居ルノデア
リマスルカラ、サウ云フモノヲ進ンデ
此職員法カラ抜イテ置クト云フコト
ハ、順序ガ違ヒハシナイカト考ヘテ居
リマス

○土屋委員 外國ニ對シテ云々ト云フ
コトデアリマスカラ、私ハ改メテ私ノ
モウ一ツ質問ノ前提ニ承リマスガ、外
國ニ於テ船舶職員ニ對シテ破産者ニ資
格ヲ與ヘテナイ立法例ハ何處ト何處ノ
國ニアリマス

○宮崎政府委員 私ハ外國ノ立法例
云々ト云フコトヲ申上ゲタノデアアリ
マセヌノデ、日本ノ總テノ立法例ハ破産
者ニ對シテ一種ノ制限ヲ與ヘテ居ル、
其制限ヲ與ヘテ居ル動機ハ何處ニ在ル
カト云フト、財産管理上ニ缺陷ガアル
カラト思ヒマスガ、サウ云フ趣旨デ出
來テ居ル立法例デアルカラシテ、サウ
云フ際ニ船舶職員法カラ破産者ヲ抜イ
テシマツテ、船舶職員トナレルト云フコ

トニナルト、ソレガ詰リ外國ニ對シテ不安ノ念ヲ與ヘハシナイカ、日本ノ總テノ法律ガ破産者ト云フ者ヲ一般ノ者ト同様ニ扱フテ居ル際ナラバ、サウ云フ事ハナイカモ知レマセヌガ、今日ニ於テ多數ノ法律ガ破産者ト云フモノヲ缺格者トシテ居ル際デアルカラ、サウ云フ感ジヲ與ヘハシナイカ、斯ウ云フ事ヲ申上ゲタノデアリマシテ、外國ノ立法例ハ只今申上ゲルダケノ材料ヲ持ッテ居リマセヌ

○土屋委員 日本ノ立法例デモ破産ノ根本法タル破産法ハ、破産ノ爲ニ人ノ公ノ資格ヲ奪フテ居リマセヌ、舊商法破産編ニ依テ破産ノ宣告ヲ受ケタ者モ新破産法デハ公ノ資格ニ影響ヲ及ボサナイト云フコトヲ原則トシテ居ル、日本ノ破産法デモサウデアル、唯古イ思想ニ因ハレタル所ノ、古イ思想デ作ラレタル所ノ、古イ法律ノ中ニ偶々散見スルノデアリマス、而シテ船舶職員法モ其一デアリマス、私ハ先般ズット日本ノモノヲ調べタ中ニ船舶職員法モ見マシタ、餘リ數ヲ出スノモ何ダカラ或ル程度迄出シテ置キマシタガ、孰レモ古イ思想デ殘サレテ居ル、新シイ考ヘタ人ノ作ッタ法律ニハ破産者ト云フモノハ全然入レテ居リマセヌ、ソレカラ外國ノ事ヲ何カ、外國ニサウ云フコトガ聞エルト餘リ良クナイヤウナ御心配ニナリマシタガ、モウ破産者ニ斯ウ云フ資格ヲ奪ッテ居ルト云フヤウナ國ハ、世界ニ於テ最モ

取殘サレタル國ニ於テノミ歴史的存在シテ居ルヤウナ事實デアッテ、例ヘバ獨逸ノ如キハ、破産者ト云フモノハ自分ノ財産ヲ整理スルニ裁判所ノ手ヲ借りテ公ニ財産ノ整理ヲシテ居ルノデアアルカラ、其期間ダケガ破産者デアッテ、其整理ガ終レバ破産者デハナイ、隨テ破産ト云フモノハ公ノ手ニ依テ自分ノ財産ヲ平等ニ債權者ニ分配スル手續デアッテ、人ノ資格ニハ何等關係ハナイ、ソレデアリマスルカラ、獨逸ノ法律ヲ見ルト、船舶職員法ノ如キハ無論ノ事、破産者ニ對シテ公ノ資格ヲ奪ッテ居ル法制ハ何處ニモナイ、英米ニ於テモサウデアル、是ハ餘リ外ノ事ニ互リマスカラ何デアリマスガ、ドノ點カラ見テモ破産者ニ對シテ船舶職員タル資格ヲ奪ッテ居ルト云フ根據ガドウモ分ラヌ、貴方ノ御説明ヲ承ルト屢々ドウモ打消サナケレバナラヌコトバカリノ御説明デアリマスガ、外ニ尙ホ根據ガアリマスカ

○宮崎政府委員 只今色々各國ノ立法例ヲ引イテ御話ガアリマシタガ、少クモ日本ニ於テハ最近ニ於テ最モ新シイ法律ト言ハル、選舉法ニモ、此制限ガ拔ケテ居ラヌノデアリマス、是ハ最モ新シイ法律デアッテ、而モ此議會ニ於テ最モ能ク審議サレタ法律ト思ヒマスルガ、ソレニモ矢張チャント附イテ居ル、サウスルト外國ハ兎モ角モ、日本ニ於テハ破産者ト云フモノハ相當缺陷ガア

ルモノダト云フコトハ、認メラレテ居ルト云フコトハ是ハ考ヘラレルノデアリマス、尙ホ又先般貴方カラ御提出ニナリマシタ改正法律案ヲ色々拜見致シマシタガ、船舶職員法ハ拔ケテ居リマシタカラ、恐ラクハ吾々ト御同感デアラレルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ッタノデアリマス

○土屋委員 ドナタカラト仰シヤッタガ、私ガ皆改正案ヲ出シタノデス、前申上ゲマシタヤウニ私ハ主タルモノ二三ヲ出シタノデアッテマダ澤山アル、先ヅ本年ノ議會ハ此程度ニシテ機會アル毎ニヤラウト考ヘタノデアリマス、而モ私ノ提案シタル所ノ選舉法中改正法律案モ矢張此破産者ニシテ復權ヲ得ザル者ト云フ規定ヲ削除スル目的デ出シテ居ル、ソレデ同案ニ對シテハ私ハ現ニ籍ヲ民政黨ニ置キ、民政黨員トシテ提案シ、民政黨ノ人ノ贊成ヲ得テ提案シテ居リマスルケレドモ、此問題ハ全然黨派ノ問題デヤナイ、私ト考フ同ジウシテ居ル者ハ——提案者ハ私デアリマシタケレドモ、贊成者ハ我黨ノ人デアリマシタガ、實際ニ於テハ衆議院大多數ノ意嚮デアアル、現ニ政友會ノ諸君ニ於テモ、既ニ先般來此法案ヲ提出スベク私ト頻ニ協議ヲ致シテ居ル、サウシテ今此案文ヲ改メテ作成スルカ、或ハ私ノ案ニ皆デ贊成シテ、アレダケハ立法府ノ威信ヲ維持スル爲ニ、普通選舉ノ精神ヲ徹底スル爲ニ通サウデヤナイカト

云フ大體ノ空氣ニ向イテ居ルノデアリマス、ソレデ最近ノト云フケレドモ、モウ何年カ前デアアル、現代ニ於テ一年ト云フコトハ既ニ古イノデアアル、吾々ハ日ニ新シク日ニ新シク——古イモノハ總テ新シク之ヲ改メテ行クコトガ立法府トシテ毎年議會ヲ開イテ審議シテ行ク所以デアアルト思フ、何年モ前ノコトヲ最近ト仰シヤルノハ、ドウモ私ニハ取ラレナイ、併シ是レ以上申上ゲルト意見ニナリマスカラ、ソコデ最後ニ實際問題トシテ承リマスルノハ、前ニ返リマシテ此一號カラ六號迄ノ事項ガ發生致シタトスレバ、船舶職員ノ資格ヲ失フノハ一體何時デアルカト云フコトヲ御尋シタノハ、詰リ此處ニ落チルノデアリマス、即チ前申シマシタ通り、本人ニハ何等ノ過失ナクシテ他人ノ爲ニ爲ニ害ヲ被フテ而シテ破産者ニナルノデアリマス、其破産ノ宣告ハ本人ガ航海中デアルト否トヲ問ハナイ、裁判所ハソナコトヲ待タナイ、サウスルト云フト茲ニ第一條ニ掲ゲラレテ居ル所ノ船長、一等運轉士、二等運轉士、三等運轉士、機關長、一等機關士、二等機關士、及三等機關士ト是ダケデアリマスカ、斯ウ云フ船舶ノ職員ガ自己ノ財産ト云フモノヲ或一ツノ銀行ニ、横濱ナラ横濱ノ何、銀行ト云フモノニ預ケテ、サウシテ安心ヲシテ此航海ヲシテ居ル間ニ、銀行ガ店ヲ閉ヂテ金ガ取レ

ナクナツタ、サウシテ此人達ガ別ニ一方ニソレノ借金ヲ持ッテ居ッテ破産シタト云フコトニナリマス、其破産ノ宣告ヲ受ケタ時ガ丁度船ガ日本ヲ離レテ亞米利加ナリ歐羅巴ナリノ航路ニ就イテ居ル途中デス、此人達ガ破産ノ宣告ヲ受ケタナラバ、其船ノ高級船員ト云フモノハ全然資格ヲ失ッテ航海中船ガ動カナクナル、ノミナラズ船長ハ警察權ヲ持ッテ居ル非常ナ重大ナル職務ニ在ル、其警察權ヲ持ッテ居ル人ガ之ヲ行使スルコトガ出来ナイ、船ガ大洋ノ中ニ漂ッテ、サウシテ右ニモ左ニハ前ニモ後ニモ進ムコトガ出来ナクシテ、船長其者ガ全ク資格ガ無クナッテ居ルカラ、船内ノ警察權ト云フモノガ全然行ハレナクナリ、秩序ヲ失ッテ船員其者ガ弱肉強食ノ生物界ノ自然ノ現象デ、ドウ云フコトニナルカ分ラヌ、斯ウ云フ危険ガアル所ノ法制ヲ新シキ時代ニ御作リニナルト云フコトハ、是ハ机上ノ空論デアッテ、私カラ言ヘバ實ニドウモ亂暴極マル所ノ法制デアルト、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テ御説明ガアリマスルナラバ承リタイ

○宮崎政府委員 只今ノ御話ハ、伺ヘバ御尤ノ點ガ多クアルノデアリマスガ、丁度御引キニナリマシタ例トシテ、外國ニ航海中ニ船長ガ破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ニハ失格ヲシテシマウ、斯様な時ニハ船ガドウナルカ分ラヌト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、是ハ御

尤デアリマス、ソコデ此船員法ノ第二十五條デハ、ソレヲ豫想シテ書イタ譯デハアリマセヌケレドモ、船長ガ船ヲ指揮スルコト能ハザルニ至ッタ場合ニ於テ、他人ヲ選任セザルトキハ、運航ニ從事スル海員ハ其職掌ノ順位ニ從ヒテ船長ノ職務ヲ行フト云フコトニナッテ居リマシテ、船長ガ失格ヲスレバ一等運轉士ガ代ッテ其職務ヲ執ルト云フコトヲ書イテ居ルノデアリマシテ、初メノ趣旨ハ只今ノ御話ノヤウナコトヲ想像シタ譯デナイケレドモ、偶々ソレニ依テ救済スルコトガ出来ルヤウニナッテ居リマス、サウ云フヤウニ船ガ何處ヘ行クカ分ラヌト云フヤウナ不安ノ念ハサウ大シテナカラウト思ヒマス

○土屋委員 何條デゴサイマスカ

○宮崎政府委員 船員法ノ二十五條デス

○土屋委員 モウ一度今ノ所ガハッキリ分リマセヌ、ハッキリ讀ンデ下サイ

○宮崎政府委員 二十五條ヲ讀上ゲマセウ、船長カ死亡シタルトキ、船舶ヲ去リタルトキ又ハ之ヲ指揮スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テ他人ヲ選任セザルトキハ運航ニ從事スル海員ハ其職掌ノ順位ニ從ヒテ船長ノ職務ヲ行フト云フ非常ノ場合ヲ想像シテ是ニ規定シテ居リマスカ、一等運轉士ガ無クナレバ二等運轉士ガヤルト云フヤウナコトニナリマスノデ、只今ノ御心配ノヤウナコトハ萬々起ルマイト思ヒ

○土屋委員 今ノ「運航ニ從事スル海員」此海員ト云フモノハ水夫迄入ルノデスカ、此海員法ノ中ノ海員ノ範圍デス

○宮崎政府委員 高等職員ガ盡キテシマヘバ、水夫迄ヤラナケレバナラヌト思ヒマス

○土屋委員 ソレハ水夫迄含ミマスカ

○宮崎政府委員 サウナルト思ヒマス

○土屋委員 私ノ前申シマシタ通り、船長、一等運轉士、二等運轉士、三等運轉士、機關長、一等機關士、二等機關士及三等機關士、之ガ所謂高級船員デアリマス、一ツ船ニ乗ッテ居ル人デアリマス、サウシテ常ニ進退ヲ共ニシテ居ル所ノ人デアリマス、隨テ是等ノ人ガ自分等ノ始終居住スル所、家族ヲ置イテアル所ノ或ル港ノ銀行ニ自分等ノ全財産ヲ皆預ケテ置イテ、サウシテ一方ニ若干ノ借金ヲ各々持ッテ居ルトシマシテ、サウシテ其銀行ガ財界ノ大動亂ニ依テ破綻ヲシテ、金ヲ支拂フコトガ出来ナイト云フコトニナレバ、此人達ハ同時ニ破産スルコトガアリ得ルノデアリマス、是ハソソコトハ無イト云フコトハ言ハレナイ、大震災ノ場合モ考ヘナケレバナラヌ、東京横濱ノヤウナ大震災ノ場合モ考ヘナケレバナラヌ、サウスルト一時ニ此人達ハ破産シテ失格ヲシナケレバナラヌ、サウスルト云フト今仰シヤル通り水夫デモ宜イト云フ

○土屋委員 今ノ「運航ニ從事スル海員」此海員ト云フモノハ水夫迄入ルノデスカ、此海員法ノ中ノ海員ノ範圍デス

コトデアリマスガ、若シ此高級船員ノ資格ヲ失ッタ者ノミノ船ト云フモノハ、一體實際運航出来ルモノデアリマセウカ、ドウデセウ、サウ云フ危険ナル事ヲ豫想シテ、重要ナル顧客及貨物ヲ取扱ッテ、サウシテ之ヲ其目的地ニ運搬シヤウト云フ所ノ重要ナル目的ヲ持ッテ居ル此航海事業ニ、斯ウ云フ危険ナル事實ノ發生スルコトヲ豫想シテ、斯ウシテ御作リニナルト云フコトハ、私ハ非常ナ問題ダト思ヒマス、而シテ此破産者ニ對シテ斯ウ云フ制限ヲ設ケタノハ、一體ドウ云フ理由デアルカト云フト、或ハ信用ガナイトカ、外國ニ對シテドウダト云フコトデアリマスガ、是ハ大概私ガ申上ゲタ事ニ、一寸太刀打ハ出来ヌト思ヒマス、ソレバカリデハナク、一面ニ斯ウ云フ前段ヲ見マスルト「六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者」此六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト雖モ、此刑ノ執行ガ終レバ當然船舶職員タル所ノ資格ヲ得ラレルノデアリマス、而シテ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ、如何ナル者デアルカト云ヘバ、刑法第一章ノ即チ天皇ニ對シテ不敬ノ罪ヲ行ッタ者、敵國ノ間諜トナッテ戰時中國家ノ爲ニ不利ヲ圖ッタ者、或ハ貨幣ヲ偽造シタル者、放火ヲシタル者、此放火ノ中ニハ船舶ヲ燒棄シタル者モ這入ル、船舶貨物ヲ燒

却シタ者モ矢張這入ル、強盜強姦ノ人ト雖モ此六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ中ニ這入ルノデアル、敵國ノ間諜ニナツテ國家ノ不利ヲ圖ツタ者モ尙且ツ船舶職員タリ、船長タル資格ヲ刑ガ終レバ得ラレルノデアル、資格ガ有リサヘスレバ得ラレル、天皇ニ對シテ不敬ノ罪ヲ犯シタル者モ尙ホソレガ得ラレルノデアル、船舶其他ノ貨物ヲ放火燒却シタル者モ、尙ホ此刑ノ執行ガ終レバ此資格ガ得ラレル、強盜強姦ノ罪ヲ犯シタル者モ、尙ホ此刑ノ執行ガ終レバ其資格ガ得ラレル、六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ場合デアリマシタナラバ、サウ云フ者スラ尙ホ船長トシテ船ノ警察權ヲ行フ所ノ權利ハ當然持チ得テ、旅客ノ安寧貨物ノ安全ヲ保持シ、サウシテ其各ノ目的ヲ達成サセルコトノ出來ル船長スラ、尙ホ第二號ニ依テ其資格ヲ得ラレルニ拘ラズ、他人ノ爲ニ自己ニ何等ノ過失ナクシテ破産シタル所ノ破産者、之ニ對シテ此資格ヲ永久ニ奪ッテ行クト云フヤウナコトハ、是ハ一體ドウ云フ事デアリマスカ、天皇ニ對スル不敬ノ罪ヲ行ッテ六年未滿ノ懲役ニ處セラレタル者ト、銀行ノ破綻ニ依テ不幸ニシテ破産シタル者トヲ同格デハナイ、ヨリ以上慘タラシク扱ッテ居ルト云フノハ一體ドウ云フ譯デアリマスカ

○宮崎政府委員 先程土屋サンノ御話ノ一船ノ高級職員ガ一時ニ破産宣告ヲ受ケルト云フヤウナ御想像デアリマシ

タノハ、是ハ御想像モ餘リニ強イ御想像デハナイデハナイカト考ヘマス、サウ云フ事ハ私共事實ナイコトデハナイカト考ヘマスガ、サウ云フ事ガ假ニアリト致シマシテモ、普通ノ海員デナイ水夫ガ指揮スルコトニナツテ居リマス、是ハ已ムヲ得ヌ場合ヲ想像シテ居リマス、ソレデ船ガ安全ニ航海出來ルカト云フヤウナ御話デアリマセウケレドモ、是ハ已ムヲ得ヌ場合、非常ノ場合ヲ想像シテ居ルノデアリマス、併ナガラ只今土屋サンノ御話ニナルヤウニ、全船ノ船員ガ破産ノ宣告ヲ受ケルト云フヤウナコトハ、是ハ想像シ得ナイノデハナイカト考ヘマス、ソレカラ今一ツハ此破産ノ宣告ヲ受ケタ者ハ永久ニ船舶職員ニナレナイト云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ復權スレバ宜イノデアリマスカラ、必シモ破産ノ宣告ヲ受ケレバ永久ニ船舶職員タルコトヲ得ズト云フノデアリマセウカラ、復權ヲスレバ何時デモ其資格ハ發生スルノデアリマス、モウ一ツハ色々例ヲ引イテ御話ニナツタノハ、餘程極端ナ例ヲ御引ニナツタノデアリマシテ、船艦ノ覆沒罪デモ六年未滿ナラバ職員ニナリ得ルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、御引用ニナリマシタモノハ恐ラクハ六年未滿ニ終ルモノデハナカラウカト私ハ考ヘテ居リマス、多クハ重罪ニナルヤウナモノデハナイカト考ヘマス、是ハ餘リニ極端ナ場合ヲ御想像ニナリ過ギル

ノデハナイカト考ヘテ居リマス

○土屋委員 一ツノ船ニ乗ッテ居ル所ノ高級船員ガ同時ニ破産ヲスルヤウナコトハアリ得ナイト貴方ハ仰シヤルノデアリマスガ、アノ東京ノ大震災ノ當時ヲ貴方ハ御承知デアリマスカ、或ル一ツノ會社ノ高級社員ガ現ニ私モ其關係者ノ一人デアリマシタガ、一ツノ銀行ニ皆金ヲ預ケテ居ル、重役カラ高級社員迄——所ガ此銀行ガ燒ケテベチヤンコニナツタ爲ニ何モ取レナイ、一ツ船ニ殆ド死生ヲ共ニシテ航海シテ居ル所ノ船舶職員ノ間ニ於テ、斯ノ如キコトガアリ得ナイト云フコトガ、ドウシテ想像ガ出來ルカ、是ハ管船當局ニモ御似合ノナイ御言葉デアラウト思フノデアリマス、ソレカラ今一ツハ破産者デモ復權スレバ差支ナイト仰シヤルガ、御言葉ノ半面ニハ借金ヲ返セバ復權スルト云フ、斯ウ云フ意味デゴザイマセウ——サウデゴザイマセウ、借金ヲ返サナケレバ復權ハ致サナイノデアアル、然ルニ船舶職員ナルモノハ、モウ中學卒業ノ時カラ商船學校ナリ何カヘ這入ッテ、半生唯海ノ上ノ生活ダケヲシタ人デアアル、其覺エテ居ルコト、其練熟シテ居ルコトハ、唯航海ノ術一點ノミデアアル、此人ヲ海カラ陸ニ放シタ所デ此人ガ何ニ依テ生活ガ得ラレマスカ、生活ノ途ヲ與ヘテコソ破産者ハ借金ヲ返シテ復權スル途モ得ラレルデアリマセウ、其生活ノ途ヲ奪ッテ、糧道ヲ斷ッテド

ウシテ借金ヲ返スコトガ出來マスカ、借金ヲ返ス以外ニ復權ノ途ガアリマスカ、今日ノ破産法ニ於テハ他ニアリマスカ、破産者ダツテ復權スレバ宜イデヤナイカト仰シヤルガ、如何ニシテ此破産者ガ復權シ得ラレルデアリマセウカ、ソレ以外ニ復權ノ途ガアルト云フナラバ私ハ承リタイ

○宮崎政府委員 只今ノ御話ハ船舶職員ナルモノハ海ニ親ンデ居ルカラ海ニ依テ——船ニ乗ラナケレバ借金ガ返セスカラ、海ニ居ラナケレバ復權スルコトハ絶對ニ出來ナイト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、必シモ私ハサウデナイト思ヒマス、又或ハ極端ダト云フヤウナ御説ガ出ルカモ知レヌケレドモ、東京ノ商船學校邊リヲ卒業シタ者デモ隨分陸上勤務ヲヤッテ居リマス、地方ノ商船學校ヲ出タ者モ陸上勤務ヲヤッテ居リマスガ、殊ニ機械出ノ如キハ相當陸上ニモ居リマスノデ、必シモ海上ノ學問ヲ修メタカラ全部ガ海上デナケレバ生活ガ出來ヌト云フヤウナコトハナカラウカト思ヒマス、是ハ或ハ極端ト云フヤウナ御話ガアルカモ知レマセウガ、必シモ是ハ極端デハアリマセウ、大部分陸上勤務ヲヤッテ居ル者ガアリマス、又復權スルニモ必ズ船ニ乗ラナケレバ復權ガ出來ナイト云フヤウナ復權ノ途ガナイト云フヤウナコトハ必シモ絶對ノモノデハナイカト私ハ思ヒマス、ソレデアリマスカラ貴方ノ

御話ノヤウニ、職員ニナラナケレバ復
權ガ絶對ニ出來ナイト云フコトハ、是
ハ少シ極端デハナイカト私ハ思フノデ
アリマス、只今申上ゲルヤウニ、ソレデ
必シモ私ハ船舶職員ニナラナケレバ復
權ガ出來ナイモノトハ考ヘマセヌ、殊
ニ此比較的ニ下級ノ船員デアリマス
ガ、サウ云フ者デアリマスレバ何モ初
カラヤラナクテモ中途カラヤル人モ相
當アリマスノデ、外ノ仕事ニ手ヲ出シ
テ居ッテ破産シタ、ソレガ復權シテ更ニ
職員ニナッテ來ルト云フコトハ間ク
ルノデアリマス、デアリマスカラ只今
ノ御話ノヤウナコトハ随分極端ナコト
ヲ御考ニナッテ居ルヤウデアリマスノ
デ、私ハ實況ハサウ云フモノデハナカ
ラウカト思ッテ居リマス

○土屋委員 今私ノ間ニ對シテ破産者
ガ借金ヲ返サナイ以外ニ復權ノ途ガア
リマスカ、ソレヲ承ッテ貴方ノ御答ニ對
シテ重ネテ質問ヲ致シマス

○宮崎政府委員 ソレハ借金ヲ返スト
云フコトニナリマセウガ、何モ本人ガ
自ラ返サナクテモ或ハ親類ノ者ガ返ス
ト云フコトモアリマセウシ、色々アリ
マセウカラ、何モ本人自ラ耳ヲ揃ヘテ
返サナケレバナラヌト云フコトモアリ
マスマイト思ヒマス

○土屋委員 親類ヤ何カバナカタナ
ラバ誰ガ返スノデスカ

○宮崎政府委員 サウ云フ場合モアリ
マセウケレドモ、必シモ……

○土屋委員 復權シ得ル途ハ借金ヲ返
ス外ニアリマスカ——無シ、ソレデハ
其次ニ御尋スル、今貴方ハ陸上ノ勤務
モ出來ル云々ト仰シヤッタガ、已ニ海ニ
於テ船舶職員タル資格ヲ奪ハレタル人
ガ、今度職ニ就カントスレバ矢張此方
面デナケレバナラヌ、ソレ以外ノ方面
ト云フモノハ中々ナイ、今日社會上下
ヲ通ジテ最モ重大ナル問題ハ失業問題
デアル、高等ノ教育ヲ受ケテ職ニ就ク
コトガ出來ナクテ生活ノ途ヲ得ズ、市
中ヲ彷徨ッテ居ル者ガドレダケデア
ルカ、是等ノ知識階級ノ失業問題ト云フ
モノハ、是ハ重大ナル社會問題デア
ル、サウ云フ時相ヲ貴方ハ御考ニナラナク
テ、海ノ職ヲ失ッテモ陸デ又ドウカナ
ル、借金ハ本人ガ返サナクテモ親類カ
誰カバ返シテ呉レルダラウト云フヤウ
ナコトハ、私ハ甚ダ失禮デアリマス
ケレドモ、此案ヲ政府案トシテ御提案ニ
ナッテ國民ノ代表者ニ對シテ御説明ニ
ナル政府委員ノ御言葉トシテハ、如何
ニモ無情ナ御言葉ノヤウニ承リマス、
此破産者ニ對シテ其資格ヲ失ハシメル
ト云フヤウナコトナクシテ、矢張船舶
職員ナラ船舶職員トシテ働カシメテ、
長イ間ニデモ其借金ヲ返ス途ヲ與ヘテ
ヤルト云フコトガ社會政策ノ上カラ
見テモ當然デアルシ、サウシタナラバ
或ハ長イ間ニ此借金モ返セルデアリ
マセウ、此船舶職員ノ業務ト云フモノハ
全ク航海事務デアリマス、之ニ從事ス

ルコトニ依テ其人ノ生活ガ得ラル、ノ
デア、之ニ從事スルコトニ依テ其人
ハ金ヲ得ラレテ借金ヲ返シテ行クコト
ガ出來ルデアリマセウ、然ルニ其資格
ヲ奪ッテ陸ニ上ゲテ

〔佐々木委員長委員長席ヲ退キ
青山理事代リ著席〕

借金ハ親類ガ返シテ呉レルダラウ、或
ハ外ノ職務ニ就クコトガ出來ルダラウ
ト言ハレルガ、親類ガナカタナラバド
ウスルカ、親類ガアッテモ拂ッテ呉レ
ナカタナラバドウスルカ、破産者ト云フ
現代ノ經濟生活ノ缺陷カラ出來タ氣ノ
毒ナ者ヲ、破産ニ依テ其資格ヲ奪ッ
タ上ニ、更ニ手足ヲ縛ッテ陸ニ抛上
ゲテ、サウシテ働ケト云フノト同ジ
コトデア、斯ウ云フ無情冷酷ナ法律
ガアリマスカ、ドウデアリマス

○宮崎政府委員 只今ノ御説ハ總テ政
府ノ方デ必要ノナイニ拘ラズ強ヒテ船
舶職員ニシナイト云フコトヲ前提ニ
於テ御議論ノヤウニ拜聽致シマス、然
ルニ私共ハ破産者ハ船舶職員ニシテハ
宜シクナイト云フコトカラ出發シテ居
ルノデア、前提ガ違フヤウデア、
又失業者云々ノ御話デアリマスガ、
是ハ海員ガ一人失職スレバ一人就職
スルノデアリマシテ、全體カラ見レバ、
失業問題ハ起ラナイト思ヒマス、併シ
失業問題ニ付テハ常ニ私共考ヘテ居
リマスガ、今日ハ海運界不況ノ際
デア、失業者ノ出ルト云フコトハ已
ムヲ得ナ

イ、併シ只今ノ問題ハ必シモ失業問題
ト云フヤウナエライ問題ニナルコトハ
イト思ヒマス、何レニシテモ御議論
ノ前提ガ違ッテ居ルカラサウ云フ結
論ガ出ルト思ヒマス

○土屋委員 此問題ニ付テハ先ヅ大體
先刻カラノ質問應答ニ依テ政府委員
ノ方ニモ御分リニナッタト思ヒマス、
私ハ質問ノ形式ニ於テ今日是レ以上
續ケルコトハ或ハ武士道ニモ反スル
ト思ヒマスカラ、今日一日デモ政府
委員ニ於テ御研究下サッテ次ノ機
會ニ於テ私ノ今日御尋申上ゲタコ
トニ付テ明確ナル御答辯ヲ得ラレ
ルコトヲ期待致シマシテ、今日ハ此
問題ニ付テノ質問ハ此程度ニ致シ
マシテ、他日ニ保留致シマス

○齋藤委員 今度ノ改正案ノ第五條
中ニ「小形船舶ニ乗組ム船舶職員ノ
有スヘキ海技免狀ハ逋信大臣ノ定ム
ル所ニ依リ學術試験ヲ行ハスシテ之
ヲ授與スルコトヲ得」トアリマス、
之ニ依テ三十噸未満ノ漁船ノヤウ
ナモノハ學術試験ヲ行ハレヌヤウ
ニ思ヒマスガ、私共トシテハモウ少
シ大キナ船舶ニ付テモ御考慮ヲ願
ヒタイ、今日盛ンニ流行ッテ居ル汽
船底曳ニ乗ル機關手ハ單ニ試験ヲ通
ッタバケデハ乗組ンデモ仕事ガ出
來ナイ、ソコデ第五條ノ小形船舶
ノ中ニ汽船底曳ト云フコトマデ加
ヘラレル意思ハナイカ承リタイ、モ
ウ一點ハ、第六條ノ「船舶職員タル
コトヲ得ス」ト云フ條件デアリマス、
是ハ此事實ノ發生

シタ時ニ資格ヲ失フト云フノデアルカ、或ハ免狀褫奪處分ト云フヤウナ特別ノ處分ヲ要スルノデアルカ、或ハ船主トノ關係ハドウナルノデアリマスカ

○宮崎政府委員 第一ノ御質問ハ小形船ノ範圍ヲモウ少シ擴ゲタラ宜イデハナイカト云フコトデアリマスガ、實ハ私共色々研究シテ居リマスガ、何レニ致シマシテモ、試験ヲシナイデ免狀ヲヤルノデアルカラ、多少不安モアリマスノデ、先ヅ是ナラバ大丈夫ト云フ見當ガ付カナイトヤリ兼ネル、ソレナラバドウ位ガ宜イカト云フト、結局三十噸位ナラバ、相當ノ經驗サヘアレバ不安モナカラウ、何レニシテモ政府ガ免狀ヲ與ヘテ是ガ能力ノアルコトヲ保證スルノデアルカラ、不安ノ伴ウモノデハ一般ニ迷惑ヲ蒙ラセルコトニナリマスノデ、先ヅ安全ト認メタ者デナケレバナリマセヌ、私共三十噸デハ少イヤウナ感ガ致シマスガ、先ヅ此位デ我慢シテハドウカ、今日ハ二十噸以上ハ總テ試験ヲ受ケテ免狀ヲ與ヘテ居ルノヲ緩和スルノデアリマスカラ、先ヅ一定ノ講習ヲ受ケタ者ニ免狀ヲヤルコトニシテ、三十噸位ニシタナラバ今日民間デ困ッテ居ルノヲ幾分緩和シ得ルデハナイカ、殊ニ沿岸ノ帆船ノ如キハ三十噸以上五十噸未満ハ試験ハシテモ簡易ナ試験ヲスルト云フ途モ開カレテ居ルノデ、先ヅ是デヤッタナラバ行クデアラウト思ヒマス、ソレカラ船舶職員ノ資

格ノ喪失ガ航海ノ途中ニ起ツタ場合ニハドウカト云フ話デアルガ、其時ニハ已ムヲ得ヌト思ヒマス、併シ愈々事實ガ確定スレバ職員ヲ登録シテアル臺帳ヲ消シテ免狀モ取上ゲルコトニナリマス、ソレカラ船主トノ關係ハ資格ノアル者トシテ雇入レタノデアルカラ、資格ガ無クナレバ其關係モ無クナルト思ヒマス

○齋藤委員 私ハ特ニ氣船底曳ノ問題ニ付テ申上ゲタノデアリマス、三十噸トカ五十噸トカ云フ船ノ大小ニ依ルノデハナイ、客ヲ乗セル船ナラバ三十噸未満デモ相當試験ヲ受ケタ者デナイト危險デアルカモ知ラナイガ、漁船ノヤウナモノハ經驗ガアルナラバ必シモ試験ヲ通ラナイ者デモ漁業成績ヲ擧ゲル上ニ於テ宜クハナイカ、第五條ニ「小形船舶ニ乗組ム船舶職員ノ有スヘキ海技免狀ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ學術試験ヲ行ハスシテ之ヲ授與スルコトヲ得」トアルガ、三十噸以上デモ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス

○宮崎政府委員 只今御話ノ點ニ付テハ私共常ニ考ヘテ居リマス、例ヘバ五百噸未満トカ云フ漁船ニ付テハ此法律ト別ノモノヲ作ル考デアリマス、併シ只今仰セノヤウニ何處迄程度ヲ下ゲ得ルカドウカ、是ハ考究ノ餘地ガ十分アリマスガ、何レニシテモ漁船ハ從來ノ五百噸未満ニ付テハ此法律ノ別表以外ノ表ヲ作リタイト考ヘテ居リマス

○漢那委員 先程ノ土屋君ノ質問ニ關聯致シテ居リマスガ、航海中ニ資格ヲ失ツテ居ル、サウシテソレヲ知ラズシテ船長ナリ或ハ機關長ナリガ職務上ノ事務ヲ處理シタ場合、其效力ニ付テハドウ云フコトニナリマス

○宮崎政府委員 サウ云フコトニナルト、其效力ニ付キマシテ多少疑ガアルト思ヒマス、ソレデ實際問題トシテハ、矢張最寄ノ所ニ著イタ時ニ初メテ明確ニナルト思ヒマスガ、併シ航海ノ途中ニ居ツタ場合ニ、資格ガ無クナツタ者ノヤルコトニ付テハ色々問題ガ起ルト思ヒマス

○漢那委員 只今ノ御答辯デハ一向要領ヲ得マセヌガ、是ハモット御攻究ヲ願フテ更ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ概シテ當局ノ御説明ヲ聽クト、此受驗者ニ對スル制限ハ、殆ド懲罰的ニ禁止サレテ居ルヤウニ――

デ私ハ試験ニ「パス」シテモ絕對ニ職員ニナリ得ナイ者ニ對シテ試験ヲスル必要ハナイ、是ハ當局ノ御説明ノ通りデゴザイマスガ、併シ其制限ノ事項ガ過去ツタナラバ、當然職員ニナリ得ル者ニ對シテ、受驗ノ資格迄モ奪フト云フコトハ今申上ゲル通り、私ハ懲罰主義カラ出テ居ルト思フ、思想ノ根柢ガ誤ッテ居ルト思フ、ソレデ只今土屋君ノ御説明ノ如ク、執行猶豫中ノ者、破産者ニシテ

復權ヲ得ザル者、第四項ノ海技免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者、第五項ノ海技免狀ノ行使停止中ノ者、是等ノ者ハ試験ヲ受ケルニハ少シモ差支ナイト思ヒマスガ、是等ノ者ニ對シテ船舶職員タル者ト、ソレカラ試験ヲ受ケル者ト別々ニシテ、必要ナラバ禁止事項ヲ規定サレル御意思ハアリマセヌカ、是モ必シモ今日デナクテモ宜シイ、後日デモ宜シイカラ御答辯ヲ願ヒマス

○宮崎政府委員 只今懲罰的ノ意味デ禁止シテ居ルノデハナイカト云フ御話モアリマシタガ、是ハ懲罰的デハナイノデアリマス、是ハ船舶職員ノ職務ト云フモノニ重キヲ置イテ居ル結果、矢張制限ガ加ヘラレルノデアリマシテ、懲罰的ノ意味ハ毛頭アル譯デハアリマセヌ、ソレカラ海技免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者或ハ行使停止中ノ者ニモ試験ヲ受ケサセタラ宜イデハナイカト云フ御話デアリマスガ、海技免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者ハ、是ハ非常ニ重イ制裁デアリマスカラシテ、是ハ兎ニ角船舶職員ニシナイト云フ判決ヲ受ケテ居ルノデアリマスカラ、之ニ試験ヲ受ケサスト云フコトハ無論イカヌト思ヒマス、ソレカラ停止中ノ者ハ先刻申上ゲマシタガ、兎ニ角其者ニ對スル一種ノ懲戒デアリマスカラシテ、其懲戒中ヲ利用シテ試験等ノ便宜ヲ受ケルト云フコトハ、懲戒ノ目的ガ果シテ達セラレハ、カドウカト云フコトヲ、私共

昭和四年三月十一日

111

ハ懸念スルノデアリマスカラ、此意味ニ於テモ行使停止中ノ者ニ對シテ受驗

ノ資格ヲ與ヘルト云フコトハ如何ナモノデアラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○漢那委員 當局ハ懲戒主義デハナイト言ハレルガ、今ノヤウニ直グ後デ懲戒ノ意味デ云々ト云フ、ソレガ即チ本案ヲ制定セラレタ當時ノ御考ノ根柢ニ横ハツテ居ルコト、思フノデス、ソレデ懲戒ヲスル必要ガアルトスレバ、行使停止ハ行使停止ト云フコトガ既ニ一ツノ懲戒デアル、是レ以上何處迄モ追究シテ、受驗ノ資格モ與ヘナイトカ云フコトハ、幾ラ當局ガ陳辯サレテモ懲戒主義デナイトハ言ハレナイ、ソレ程追究スル必要ガアルカドウカ

○宮崎政府委員 私ノ申上ゲヤウモ惡
イカモ知レヌガ、漢那サンハ少シ誤解
ガアリハセヌカ、ト云フノハ行使ヲ停
止スルト云フコトハ、此職員法ガ規定
シテ居ルノデハアリマセヌ、海員懲戒
法ガ規定シテ居ルノデアリマス、貴方
モ海ノ方ニ經驗ガオアリデスカラ、御
承知ノコト、思ヒマスガ、海員ガ其一
定ノ條項ニ觸レ、バ懲戒ヲ受ケル、其海
員懲戒法ニ依リ懲戒ノ結果免狀ヲ取上
ゲラレテシマヒ、行使ヲ停止サレルノ
デアリマスカラ、懲戒法ニ依テ懲戒ヲ
受ケテ居ル者ニ、一面ニ於テ利益ヲ與
ヘ便利ヲ與ヘルト云フコトハ、懲戒ノ
目的ヲ達シ得ナイコトニナリハセヌカ
ト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマ

ス、此職員法ニ依ルノデハナイノデア
リマス

○漢那委員 便利ヲ與ヘルトカ恩典ヲ與ヘルトカ言ハレルガ、ソレガドンナ便利ヲ與ヘルコトニナリマスカ、當然此試驗ハ受験者ニ限ラズ一般臣民ハ試験ヲ受ケル權利モアルダラウシ、法律ノ禁止シナイ限りハ有ユル特權ト云フモノハ他ノ人ト完全ニ同一デナケレバナラヌ、ソレヲ當局ガ便利ヲ與ヘル、或ハ恩典ヲ與ヘル、斯ウ云フ風ニ御考ニナルカラ、サウ云フ者ニハ恩典ヲ與ヘヌト云フコトニナルガ、其處ガドウモ御考ガ違フテ居ルト思ヒマス

○宮崎政府委員　懲戒ト云フモノハ私カラ申上ゲル迄モナク矢張一種ノ苦痛ヲ與ヘルコトデアリマス、例ヘバ免狀ノ行使ヲ三箇月停止サレルト云フコトハ、其者ニ對シテ相當ノ苦痛ヲ與ヘルコトガ目的デアリマス、ソレヲ其期間ヲ利用シテ上級ノ免狀ヲ得ル方法ヲ講ズル、或ハ其期間ニ於テ上級ノ免狀ヲ得ル資格ヲ與ヘルト云フコトハ、其者ニ對シテ便益ヲ與ヘルト云フコトニナルト思フ、非常ナ利益ヲ與ヘルコトニナル、不正行爲ガアツテ免狀ヲ取上ゲタノデアルカラ、其間ハ受験ヲ止メルト云フ一種ノ制裁ヲ加ヘテ居ルノデス、サウ云フ者ニ便益ヲ與ヘルト云フコトデハ、懲戒ノ目的ガ十分ニ達シ得ラレナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○漢那委員 是レ以上ハ議論ニナリマ
スカラ打切リマスガ、又他日意見トシ
テ述べルコトガアリマセウ

○土屋委員 今日ハ是デ打切リデスカ、午後ヤリマスカ

○青山委員長代理 委員長ガ彼方へ
行ッテ居ルカラ分リマセヌガ……

○土屋委員 先刻來此處デ御同様カラ
質問應答ガアリマシタガ、是ハ船舶職

員ニ付テ非常ニ重大ナ事デ事務ノ問題
デナクシテ、政策ノ問題ニ係リマスカ
ラ、次同ニハ一ツ遞信大臣ノ御出席ヲ
願ツテ、此問題ヲ明ニシタイト思ヒマ
ス、尙ホ此問題ハ同時ニ海軍ニ關係ノ
アルコトデアリマスカラ、同時ニ海軍
大臣ニモ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、委員長カラ然ルベク御取計ヒヲ願
ヒマス

○青山委員長代理 成べく交渉ハ致シ
マスガ、若シ大臣ノ都合ノ付カヌ時ニ
ハドウ致シマセウ

○土屋委員　遞信大臣ダケニハ是非出
テ戴カナケレバナラヌト思ヒマス、只
今ノ管船局長ノ御答辯ハ隨分御熱心デ
ゴサイマスケレドモ、ドウモ局長ハ唯
原案ヲ固執スルト云フダケデ、本當ノ
問題ヲ御答辯ニナルコトハ一寸ムヅカ
シイカト思ヒマス、ソレデ親シク遞信
大臣ノ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、
同時ニ此船舶職員ハ海軍ノ方ニ非常ニ
重大ナ關係ガアリマスカラ、同ジ意味
ニ於テ海軍大臣ニモ御出席ヲ願ヒ、而

シテ成ベク議事ヲ滑ニ進メタイ、ソレ
デ委員長カラ然ルベク御取計ヒヲ願ヒ
マス

〔速記中止〕

〔速記中止〕

○檀野委員 戦争以來近海航路ノ船ガ
第二區ニ行クコトガ出來タノハ、海員
ノ技術ガ進ンダ爲メデアリマシタラウ
ガ、今度ノ職員改正法ニ依リマス、現
在第一區ノ者ハ第二區ニ行ケヌト云フ
譯デアリマスカ

○宮崎政府委員　サウ云フコトニナリマス、尙ホ附加ヘテ申上ゲマスガ、從來トテモ實際ハ第一區ニ止ツテ居ッテ、第二區迄行カナイノガ多イノデアリマシテ、表面カラ見ルト、第二區迄行ケタ者ガ、第一區デ打切ラレルノハ非常ニ苦痛ノヤウニ考ヘラレマスガ、實際問題トシテハ餘リ影響ノナイヤウニ立案シテ居ルノデアリマス

○檀野委員 第一區ノ小サナ船ヲ危險地帶ニ送ルヤウナコトハ、注意深キ船主竝ニ船長デアレバ敢テ爲サナイト云フヤウナ事ハ實際問題デアツテ、之ヲ法律ヲ以テ彼處ニ行ツテハイケナイト云フヤウニスルノハ、海國男子トシテ、海ニ飛出ス日本人ノ特殊性カラシテモ、又或ル探險ノ爲ニ、或ル特別ノ利權開發ノ爲ニ、小サナ船デモ損得ノ算盤ヲ度外視シテ出テ行クヤウナ機會ガ是カラ度々アルト思ヒマスガ、日本ノ委任統治ニ屬シテ居ル南洋諸島ハ、日本人トシテハ、日本帝國ニモ準ジテ居ル位

ニ考ヘテ居ル所デアリマスカラ、之ヲ包含スルヤウニセラル、御考ハアリマセヌカ

○宮崎政府委員 實際カラ申シマス、乙種程度ノ者ハ一區位ノ所デ結構デアリマシテ、ソレ以上ニナルト實ハ無理ナノデアリマス、ト申シマスノハ、天測

船ノ位置ヲ測ルト云フヤウナ場合ニ於テモ、乙種程度ノ試験ハ好イ加減ニナッテ居リマスノミナラズ、二區迄擴ガリ

マス、所謂外國人トノ取引モ多クナルノデ、外國語ノ素養モナイト困ル、所

ガ乙種程度ノ者ニハ外國語ノ試験モ無イノデアリマスカラ、乙種免狀ノ者ヲ

使フコトハ、船主トシテモ餘程考慮スベキ問題デアルト思ヒマス、今日例外

トシテ二區迄認メテ居ルノハ、御承知ノ通り、戰爭中ニ一時船ガ急ニ殖エテ、

職員ガ足りナイト云フコトカラ、窮餘ノ策トシテ乙種程度ノ者モ二區迄行ケ

ルヤウナ途ヲ開イタノデアリマスガ、其結果ハ面白クナイノデ、船主ノ方カ

ラ見テモ、日本ノ海運界全般ノ上カラ見テモ、結局利益ニナラヌノデハナイ

カト思ハレマスノデ、只今ノ所デハ其處迄考ヘテ居リマセヌ

〔青山委員長代理委員長席ヲ退キ佐々木委員長復席〕

○檀野委員 是ハ日本海員ニ對スル非常ナ侮辱デアルト考ヘル、貴方ハ外國

語ガ出來ヌ爲ニ西洋人ニ馬鹿ニサレルト仰シヤルケレドモ、南洋ノ土人ニ日

本人ガ馬鹿ニサレルコトハナイト思ヒマス、此點ハ見落シニナッタノデハナイト思ヒマスカラ、第一區ノ中ニ御包含ニナルヤウニ御訂正ヲ戴キタイト考ヘマス

○宮崎政府委員 是ハ先程申シタヤウニ、乙種程度ノ者ハ天測等ニ付テ十分

デナイカラ、避ケタラ宜イト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレニ一區ノ範圍モ

擴ガツテ居リマスカラ、サウ餘リ遠クニ行クコトハナイト思ヒマス、南洋諸島

迄行クコトニナルト、天測ヲシナケレバナラヌ場合ガ度ニ起ルト思ヒマスカ

ラ、サウ云フ點ヲ考慮シテ、餘リ擴張スベキモノデハナカラウ、斯様ニ考ヘテ

居リマス

○檀野委員 是レ以上ハ議論ニナリマスカラ申上ゲマセヌガ、第一區ト云フ

ノハ遠ク「カムチャッカ」ノ東「アリユーシヨン」群島迄モ含シテ居ルコトヲ考

ヘマス、私共ノ考ト致シマシテハ「ヤッブ」其他ノ委任統治地ナドハ、殆ド伊豆

七島ノ航海ノ延長トシカ考ヘラレナイヤウニ思ハレマスノデ、此事ヲ一寸申

上ゲタ次第デアリマス、御答辯ハ是レ以上煩ハシマセヌ、ソレカラモウ一ツ

御尋致シタイトハ、船長及運轉士ト機關長及機關士ノ定員ノ別ケ方ハ、ドウ

云フ御標準ニ依テ、近海航路ト平水航路トヲ御別ケニナリマシタカ、此實情

ヲ御同致シタイト思ヒマス、私一寸具體的ニ胸ニ浮ビマスコトハ、近海航路

ノ一區ノ、千二百馬力未滿ノ中デ御定メニナツテ居リマスモノハ、第一號表ニ較ベマシテ今後ハ之ヲ千五百馬力位ノモノニ數字ヲ御改正ニナル必要ガアリ

ハシナイカ、過去數年間ノ日本ノ造船技術上、多分現今浮シデ居ル船ヲ標準

トシテ御拵ヘニナツテ居ルト思ヒマスガ、今後快速力ノ小形船モ段々増シテ

來ルコトデアリマセウシ、馬力ハ日進月歩デ進ムコト、考ヘテ居リマスカ

ラ、是ハ千五百馬力位ノ所迄法律ヲ改正シテ置カヌト、又度々御改正ニナル

ヤウナコトニナリハシナイカト思ハレマスガ、其必要ヲ御認メニハナリマセヌカ

○宮崎政府委員 是ハ將來ノコトモ或ル程度迄豫想シテ作ツテ居ルノデゴザイマス

○檀野委員 私ハ是ハ馬力ヲ増サナケレバ直グ又此法律ヲ御改正ニナラネバナラヌ機運ニ向フヤウニ考ヘマスガ、

今強ヒテ修正案ヲ出ス譯デハアリマセヌ、私ノ意見ダケヲ申上ゲテ置クノデアリマス、ソレカラモウ一ツ第一號表

ノ近海航路二千噸未滿ノ一等運轉士モ二等運轉士モ二ツナガラ乙種一等運轉

士免狀ニナツテ居リマスガ、是ナドハ折角斯ウ云フ標準ヲ御拵ヘニナリマスナ

ラバ、此二等運轉士位ハ乙種二等運轉士デモ宜イト云フコトニ何故爲サラナ

カッタノデアリマスカ

○宮崎政府委員 二千噸未滿ノ二等運

轉士ヲ乙種二等運轉士ニシタラドウカト云フ御意見デアリマスガ、御承知ノ通り乙種二等運轉士ノ試験ハ非常ニ簡易デゴザイマス、ソレデ實際ノ力量カラ言ヒマシテモ、餘リ大形ノ方ニハ適當致シマセヌノデ、成ベクナラバサウ

云フ者ヲ乗セタクナイ、乙種一等運轉士ニナリマスト大分試験モムヅカシイ

ノデアリマシテ、乙種二等運轉士デハ千噸以上ノ船ニナリマスト間ニ合ハナ

イト云フ考カラ、是ハ乙種一等運轉士ト致シタノデアリマス

○檀野委員 是ハ御訂正ニナルコトガ出來ヌトスレバ仕方ガナイガ、私ハ乙種二等運轉士ノ免狀ヲ持ツテ居レバ澤

山ダト斯様ニ考ヘテ居リマス、外ニ質問ハゴザイマセヌ

〔速記中止〕

○佐々木委員長 本日ハ是デ以テ散會致シマス、次回ハ何レ公報ヲ以テ申上ゲマス

午後零時二十一分散會

昭和四年三月十二日印刷

昭和四年三月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社